

「問い」が生まれる授業のポイント（外国語科）

～外国語科における「問い」を生かした授業～

「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方」を働かせ、日常的な話題や社会的な話題について、自分の考え、気持ちなどを、トピック作文、電子メールのやり取り、ディスカッション、ミニディベート等で伝え合ったり、表現したりすることを通して、必要な単語やフレーズの確認をしましょう。つまり「活用」と「指導」がスパイラルに循環する授業を展開することが大切です。

また、授業では、児童生徒から「問い」を引き出し、グループ内での対話を通して自分の意見を修正・強化をさせながら、問いを解決させましょう。そして授業が終わった後も新たな「問い」が生まれるような授業をめざしましょう。

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方

外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること。

【 1 単位時間の基本的な授業デザイン例 】 * 目標に応じて順序や言語活動を代える工夫が可能

導 入	Warm-up	インタラクティブで日常的なルーティーンのやりとり ○小学校ではスモールトーク、中学校では前時の復習や基本表現の帯活動及びスモールトークなど、短時間で英語を使う雰囲気をつくり、児童生徒のやる気をアップさせましょう。
	魅力的な課題の提示 めあて	児童生徒が主体的に考えることができる魅力的で必然性のある課題を提示 ○目的、場面や状況を具体的に設定しましょう。 教師と児童生徒のインタラクティブな対話による「めあて」の設定 ○課題を解決するために「どうすればいいのかな?」「どう考えていけばいいのかな?」「どう表現すればよいか?」など児童生徒の「問い」を引き出しましょう。
展 開	個人での思考 ・聞くこと ・読むこと 等	読み物やデータなどの情報を整理しながら、根拠に基き個人で考えを持つ ○「私は、この情報からこう考える。自分なら○○だ。」「どのように表現すれば相手に分かりやすく伝わるかな?」「みんなの考え（意見）はどうかな?」（「問い」）
	ペアやグループ等の言語活動 ・話すこと 等 (やり取り)	外国語による言語活動の充実 ○目的・場面・状況が設定された他者との対話を通して、自分の考えを問いただしたり、修正・強化したりさせましょう。 「こういう風に表現すれば分かりやすいんだ」「そういう考えもあるんだな」「それは初めて知った」「やはりそう思う人は他にもいるのだな」「よし、自分の意見や考えを伝えよう」など。
終 末	言語活動 ・話すこと (発表) ・書くこと 等	対話により得た情報を整理し、「話す」「書く」等の言語活動を通して、自分の考えを再構築する ○相手を意識してわかりやすく英語で説明したり、発表したりさせましょう。 ○話し手の発表や書かれたものを聞いたり読んだりしながら、聞く側には「問い」をもたせるようにしましょう。 ○児童生徒同士による相互評価、教師によるパフォーマンス評価をしましょう。
	まとめ 振り返り	児童生徒の言葉を生かした「まとめ」 ○何が分かり何ができるようになったのかを明らかにしながら、学習内容を簡潔に整理しましょう。 ○簡単な英語でまとめをさせましょう。 視点を与え、学びの過程を振り返り新たな「問い」を見いだす ○振り返りの視点をもとに、対話によって生まれた自らの思考の変容や考えたことを振り返り、新たな「問い」につなげさせましょう。 ○簡単な英語で振り返らせ、自己評価をさせましょう。

児童生徒が将来の自立した学習者となるように

○教室で学習した後も、「この場合にはどうなるのだろうか?」「どう表現すればいいだろうか?」等、常に新しい「問い」をもつ児童生徒の育成をめざし、辞書指導（中学校）や授業と連動した宿題の提示を心掛けましょう。

How can we develop students' practical English ability? 児童生徒に英語を使わせていますか？

なぜ、児童生徒の英語力が思うように伸びない？



Oh, no!

What I have done so far

- word test/practice
- phrase/pattern practice
- classroom English/teachers input
- teachers detailed explanation etc...

▲先生だけが主に英語を話し、先生が教え込むスタイルになっていませんか？

▲児童生徒は先生の話長い時間聞き、指示通りに繰り返すだけ？

○これからの児童生徒には、聞いたことや読んだことを基に、場面や状況に合った自分の思いや意見を表現することが求められます。目的・場面・状況を確実に設定し、まずは、児童生徒に*言語活動をさせることから始めましょう！！

*言語活動は「実際に英語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う」活動を意味する。(中略) 言語活動は、言語材料について理解したり練習したりする活動と区別されている。(小学校外国語活動・外国語 研修ガイドブック 基本編 4 p 23)

対話する (やり取り) Interaction

自分の好きな季節について、理由を述べながら相手と会話しよう。

What season do you like ?

I like summer.

Why do you like summer?

Because I can swim in the beach. I like swimming. How about you?

まとまった文章を聞いて自分の感想を述べる Listening & Responding

マララさんのスピーチを聞いて、あなたの感想を書きましょう。

One child, one teacher, one book and one pen can change the world.

I think she was a great girl. I'm very interested in her speech. So, I want to know more about her.

読んだことを要約する Retelling (中学校)

本文を読んで、自分の意見も含めて、分かりやすく相手に伝えよう。

There are a lot of hungry people in the world. The World Food Program gives food to about 90,000,000 people in 83 countries. In Japan,..... What can we do about the problem?

自分の意見を述べる Expressing Your Opinion

質問に対する自分の考えとそう考える理由を英語で述べてください。

What is your favorite school subject? Choose one and explain why.

Sample Answer:

I like English most because I'm good at English, and it's easy for me. I also like our English teacher very much. I'm also interested in foreign cultures and I want to travel to foreign countries.

[GTECスピーキングテスト] より
(出典：ベネッセ英語4技能スコア型検定GTEC)

平成31年度全国学力・学習状況調査より

○目的・場面・状況を設定し、これらの言語活動を授業に取り入れ、実際に児童生徒に英語を使わせる授業改善を行いましょ。

自転車に乗れるようになるには、いくら乗り方だけを説いても、乗れるようにはなりません。

確かに、基礎的な説明は必要です。でもその後は、けがをしないように見守りながら、実際に自転車に乗せてみないと乗れるようになりません。英語も同じです。

実際の場面を設定して、英語を活用させながら、どんどん自分の意見や思いを表現させ、必要に応じて指導を入れましょう。

Learning by doing!

